

2.7mの高さが生み出す、ワンランク上の開放感。

引違い窓に、天井高2.7mにぴったり納まるH27規格サイズをご用意。床から天井まで伸びるハイサイズの窓がもたらすかつてない広がりや、今まで以上の採光性・眺望性と開放感を生み出します。

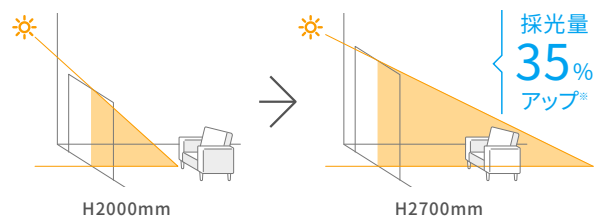


※在来納まりの一例です。

家族の健康を守るために、「光」を活かす住まいづくり。

光環境と健康についての研究によると、「日中に浴びる光の量が多いほど疾病リスクが低い^{*}」という調査結果があります。大切な家族の健康を守るためにも、リビングなどの日中長く過ごす部屋には、光がしっかり入る大きな窓や高窓を設置するのがおすすめです。

※出典：「住まいの光」と「健康」に関する調査レポート（奈良県立医科大学、LIXIL / 2021）

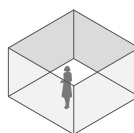


※単体引違い窓16520[16220]サイズと16527[16227]サイズの比較。

COLUMN

豊かな住空間をつくるヒントは「天井の高さ」。

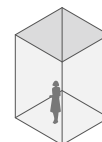
昔に比べ日本人の平均身長も高くなり、イスに座る生活が一般化して目線も高くなったことで、現代の住まいはより高い天井が求められるようになってきています。天井を高くすることは空間を広く見せる効果も期待でき、高い天井に合わせた大きな窓を採用すると、部屋の奥まで光や風を採り込み、より豊かな住空間づくりが可能となります。



100

空間の知覚に関する研究によると、空間の容積が同じであっても、床面積が狭く、天井が高い部屋の方が0～10%広く感じるということが明らかになっています。

実際の容積



100

100

知覚される容積

100～110

※出典：日本建築学会計画系論文集、第496号 1997.6, pp.119-124/日本建築学会大会学術講演梗概集、1996.9, pp.789-790